

# ボランティアセンター 武蔵野通信

4月号  
No. 239

社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会 ボランティアセンター武蔵野  
〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町1-9-1 (1階)

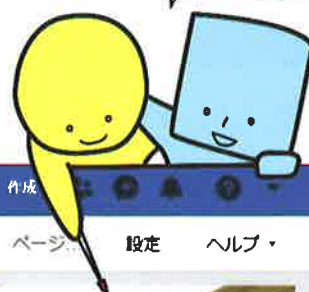
TEL:0422-23-1170 FAX:0422-23-1180  
Eメール vcm@shakyou.or.jp



Facebook で気軽にチェック!

## あなたの知りたいに きつとつながる

情報をいち早く  
お届け!



231 名が「いいね!」をしている (2020年3月14日現在)

市内の地域福祉活動やボランティア情報を気軽に知るならコレ!

ボランティアイベント・講座に関する情報や、武蔵野市内の福祉に関することを Facebook で発信しています。発災時は、災害ボランティアセンターの情報発信としても活用予定です。

「いいね!」を押すと、あなたの Facebook にイベント情報が届きます!



パソコンからも携帯からも  
見られるよ!



はじめよう!  
見つけよう!





### 2月おとばサロン

## バードウォッチング～鳥とわたしたち～



講師：馬場 裕 氏

(日本野鳥の会翻訳グループ)

参加者：19名

(男性8名、女性11名)



馬場様によるおとばサロンでのバードウォッチングは3回目となります。

バードウォッチングの楽しみ方のお話を聞いてから、井の頭公園で体験しました。バードウォッチングは冬がシーズンとの事、葉が落ちて小枝に止まった鳥を見つけやすいという理由です。池の周りは、いろいろな冬鳥が悠遊と泳ぎ・飛び回っていました、何気なく歩いている公園も注意してみると様々な鳥たちの楽園であることに気づかされました。

参加された方も、バードウォッチング初心者が多かったようで、とても勉強になったとの話でした。

最後に、公園でのバードウォッチングが終わってから質問に答えていただきました。吉祥寺の近傍では井の頭公園以外にも善福寺公園や野川など鳥たちの憩いの場所はたくさんあり、それぞれの楽しみ方があるとのことでした。

(記：後藤委員)



お父さんお帰りなさい！ようこそ地域へ！



参加者  
募集

### 5月おとばサロン

## 笑って元気！江戸小唄

5月9日(土)

14:00～16:00

「笑い」は健康増進。心スッキリ、自分が元気に！  
オチが楽しい江戸小唄。

聞いて笑って、やってみて、江戸小唄かるたも大笑い！  
ぜひ気軽にお越しください。

★場 所：市民社協会議室(吉祥寺北町1-9-1)

★対 象：シニア世代の男性・女性

★内 容：●数秒から3分程度の簡単な小唄(短い落語)の紹介

★定 員：25名(申込順)

●やってみよう！江戸小唄 など

★申・問：VCM(1面右上連絡先)

★講 師：江戸小唄笑い広げ鯛のみなさん↓

### 団体プロフィール

三鷹～武蔵野市で、高齢者施設・学校などで元気に江戸小唄の笑いを広げ中！

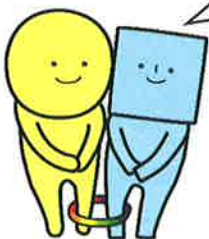


## 令和2年度 ボランティア保険加入について

ボランティア保険では活動中のケガはもちろんのこと、活動先までの往復途上(直行直帰)でのケガも補償されます。活動される方々には加入をお願いしております。  
ボランティア保険加入をご希望の方はボランティアセンター窓口まで、お越しください！

掛金：300円(Aプラン)～

(補償期間：4月1日～2021年3月31日まで)





## 活動団体紹介

# NPO 法人 <sup>わふく</sup>きもの笑福

代表 鎌田 弘美

きものは古来日本人の日常着であったはずですが、現代においては、特別な日の衣装になりつつあります。そのきものをはれの日に着る機会が、全ての子ども達に平等に訪れる事を願ってNPO法人きもの笑福を昨年立ち上げました。



現在、私たちは、貧困による教育の格差対策と、被虐待幼児の人権擁護活動を目的として活動しています。児童養護施設等で暮らす子ども達の七五三や施設出身者の成人式のきもの準備から、ヘアメイク、着付けと写真撮影を無償で行い、記念アルバムを贈る事業です。活動を行う中で、その関連施設等から障がいのある方々への支援要請があり、この事業も私達の使命だと考えています。必要としてくださる方、なるべく全ての方のもとにお伺いできるようなさらに活動を広げていけるよう準備中です。

もう一つ私達の大きな活動は文化教育活動です。5年前より中学校家庭科のゆかた体験授業を行っています。きもの文化についてお話をさせていただき、一人で着られるようにご指導させていただきます。目をキラキラと輝かせて真剣に取り組む生徒さんの姿をみると私達も日本の文化を継承していく意義を強く感じます。

私達の団体はたくさんの方にご支援していただきながら、二年目を迎えようとしています。ご支援に感謝しつつ、また新しい出逢いを期待しながら日々技術向上に努めて参りたいと思っております。

参加者  
募集

## 失語症会話パートナー(ボランティア実習)養成講座

失語症とは、意識や判断能力が維持されているにもかかわらず、脳卒中や頭部外傷などの後遺症で、話す・読む・書く・聞くなどが困難になる言葉の障がいです。失語症のある方たちは、会話を通して自分を理解してくれる人、周囲との会話のかけ橋となる人を必要としています。

その基礎的知識と援助技術を学んで地域で活動するボランティアを養成します。

初回(土曜)は「基礎知識編」として関心のある方にもご参加頂けます。

コース名		日時	場所	定員
A：養成講座 (全10回)	講習 (土曜)	5 / 16、23、30、7 / 25 13:30~16:30	市民社協会議室	8名
	演習 (土曜)	6 / 27、7 / 18 13:30~15:30		
	実習 (水曜)	6 / 3、10、7 / 1、8 の中から2日間 どちらも 13:30~15:30	市内福祉施設	
B：基礎知識編(初回)のみ		5 / 16 13:30~16:30	市民社協会議室	10名

●講 師：言語聴覚士

●対 象：市内在住・在勤・在学中  
18歳以上の方

●参加費：無料 ※Aはテキスト代実費

●締 切：4月24日(金)必着

※講座開始1週間前までに全員に結果を通知します

●申込法：往復ハガキに①～⑥を明記して

VCM(1面上部連絡先)講習会担当まで

①氏名(ふりがな) ②年齢

③住所 ④電話・FAX番号

⑤在住・在勤・在学 ⑥希望コース

※定員を超えた場合は、  
市内在住者・初参加者を優先し抽選



★今回はボランティアセンター武蔵野の活動会員で当センターの広報委員でもある内藤さんをご紹介します。

## ボランティア 活躍の場から

### 内藤 久満さん



内藤さんはボランティアセンター武蔵野の広報紙「VCM 通信」最終面の「ボランティア活躍の場から」の取材、記事や四コマ漫画の作成を長年担当してくださっています。「ボランティア活躍の場から」は主に市内で活躍しているボランティア（個人・団体）にスポットを当て、掲載をしています。広報委員会にて取材先を決め、取材をして記事を作成します。またその取材先に合った四コマ漫画も描いていただいています。四コマ漫画は2時間ほどで完成します。内藤さんの描く絵は柔らかい雰囲気のもので、とても暖かみがあります。VCM 通信は平成 30 年 6 月号からフルカラーになりましたが、最後のページは内藤さんの四コマ漫画で、より華やかなものになっています。この四コマ漫画を毎号、楽しみにしている方もおられ、「四コマ漫画は内藤さんが描いてくださっているんです…」と取材先でご紹介すると、とても驚かれるとともに、「発行を楽しみにしています！」と出来上がりを楽しみにされる方がほとんどです。私たち職員もどんな四コマ漫画になるのか、いつもワクワクしています♪

内藤さん、これからも「ボランティア活躍の場から」を一緒に盛り上げてください。そして読者のみなさま、次号もお楽しみに！！

### 4コマ★ボランティア



H. Naib

イラスト：VCM広報委員 内藤久満



## 運営委員の活動日記

VCM 運営委員 小澤 洋祐

私は市内にある藤村女子中学・高等学校で教員をしています。ボランティアという観点を教育の中に取り込んでいくことができないかと考え、運営委員としてボランティアセンターの活動へ参加させていただいています。

委員としての活動に直接関係しないことが多いのですが、これからは担う生徒達に対して意識していることが二つあります。一つはボランティアに対する敷居を下げ、やってみたいと思ったときに紹介できるようにすること。二つ目はボランティア活動を通して社会的に広い視野を持たせること。まだまだ実現できているとは言えない状況ですが、私自身が運営委員として得られた体験を還元していきたいと思っています。

**開所時間** ★住所・連絡先は1面参照

**火～土曜 9時～17時**

※日・月・祝日休み※4月から変わりました

**アクセス**

徒歩：JR中央線 吉祥寺駅より10分

バス：

★桜堤・関前方面より

「武蔵野八幡宮」（地図A）下車すぐ

★吉祥寺駅方面より

「武蔵野八幡宮」（地図B）下車 徒歩2分

★ムーバス

北西循環「八幡前」下車 徒歩2分

市民社協・ボランティアセンター武蔵野

